

5. 福祉について

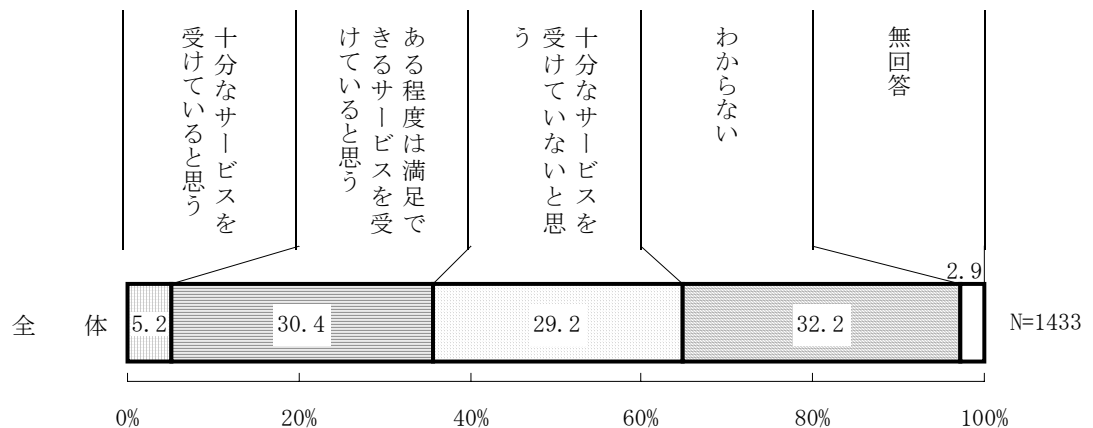
問 19 現在、何らかの支援が必要な人たちが、十分な福祉サービスを受けていると思いますか。
(〇は1つ)

全体では、「わからない」が最も高く、「ある程度は満足できるサービスを受けていると思う」、「十分なサービスを受けていないと思う」がほぼ同率で、約3割ずつという結果となっている。

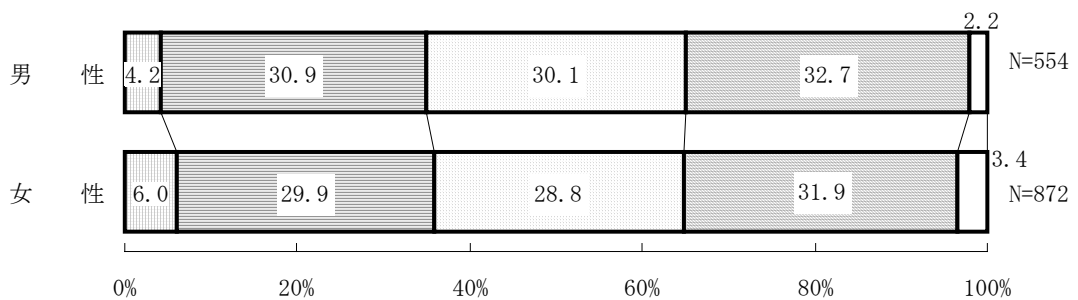
性別では大きな傾向の差はみられない。

年代別では、30歳代の約4割が、「十分なサービスを受けていないと思う」が高く、「ある程度は満足できるサービスを受けていると思う」は、50歳代以上で高い傾向である。

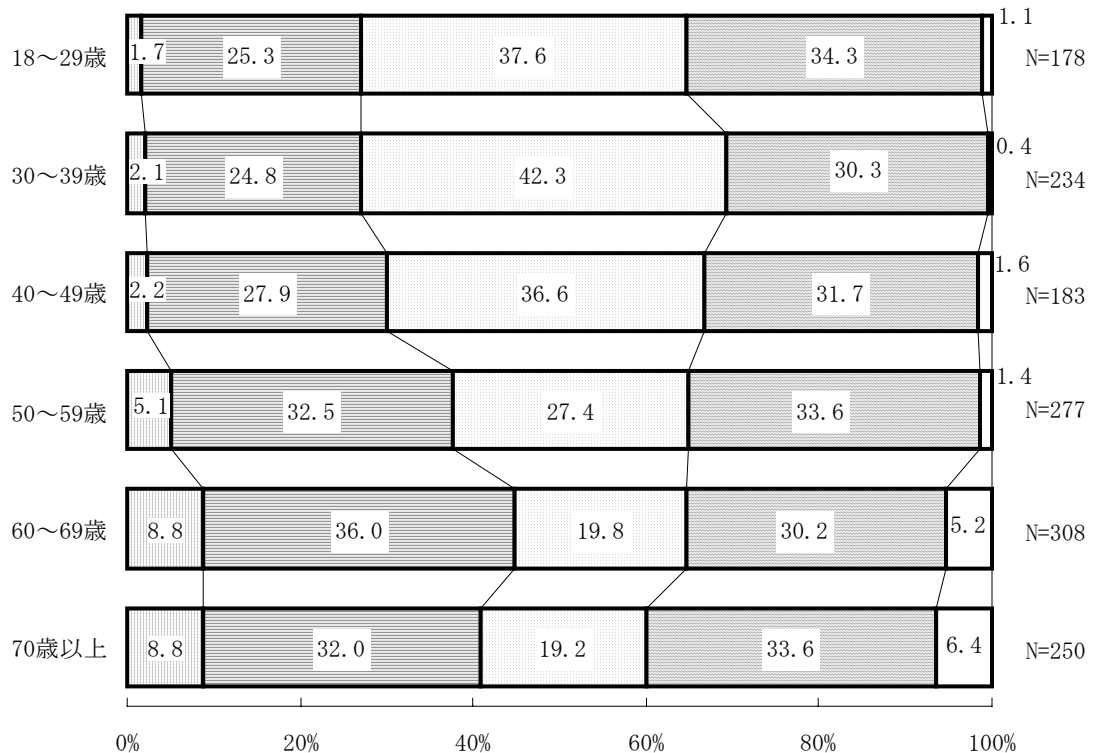
【全体】



【性別】



【年代別】



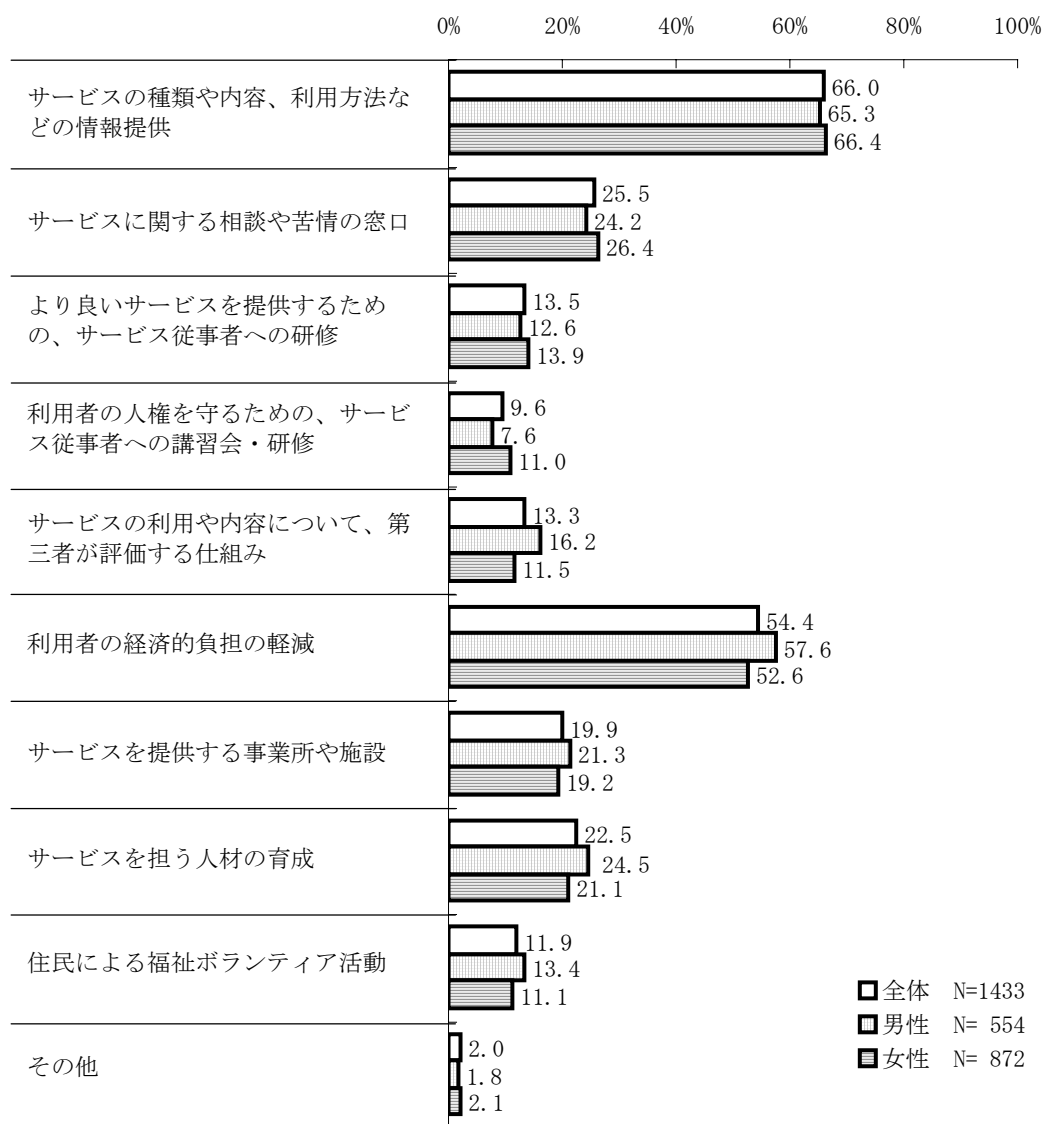
問 20 子育てや高齢者・障害者の介護などに関する福祉サービスを安心して利用できるようにするために、どのようなことを充実させていくことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

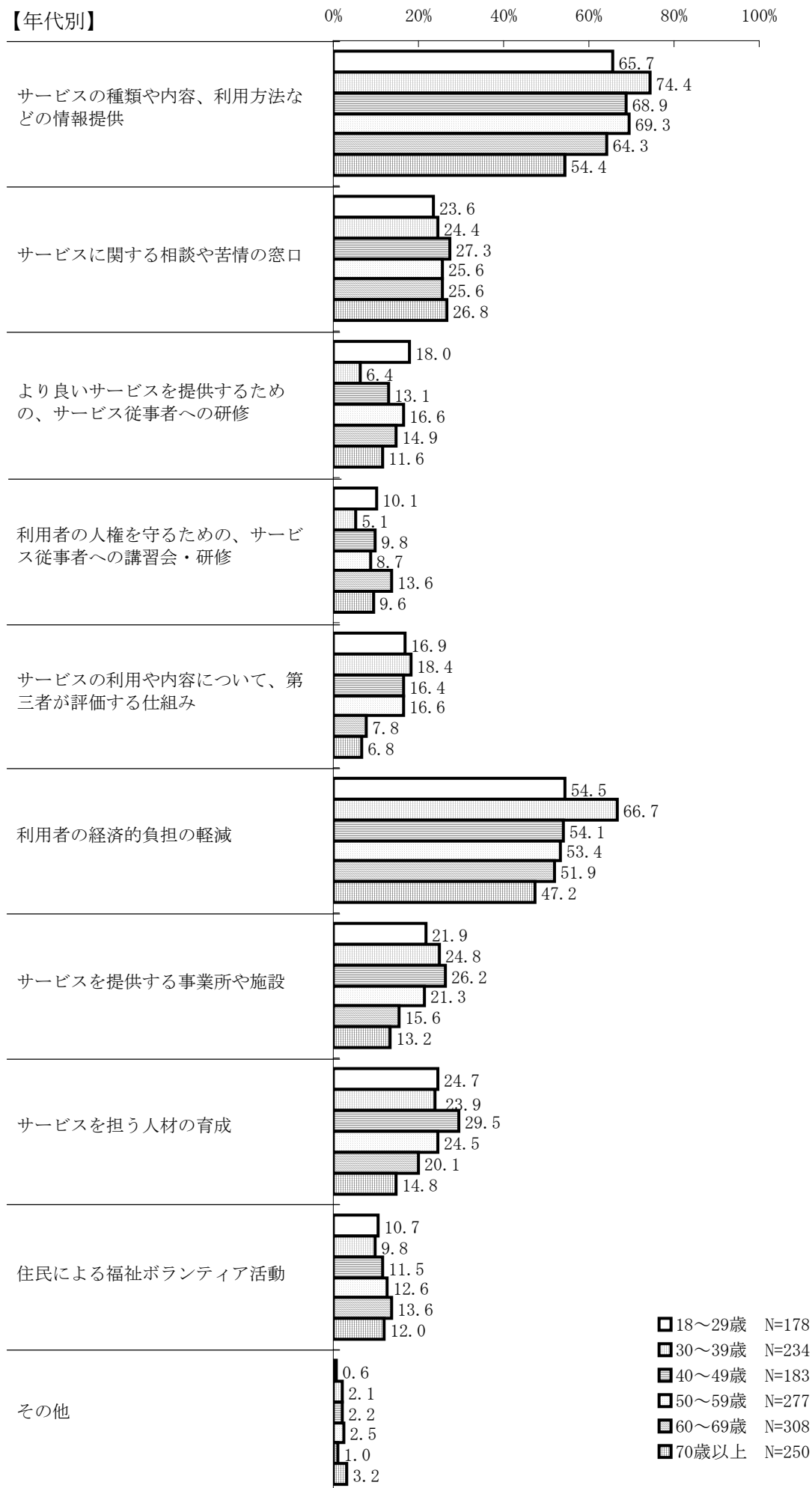
全体では、「サービスの種類や内容、利用方法などの情報提供」と「利用者の経済的負担の軽減」が高くなっている。次いで「サービスに関する相談や苦情の窓口」と「サービスを担う人材の育成」が続いている。

性別では大きな傾向の差はみられない。

年代別では、大きな傾向の差はみられないが、「サービスの種類や内容、利用方法などの情報提供」と「利用者の経済的負担の軽減」は、30歳代が他の年代よりやや高い。

【全体・性別】





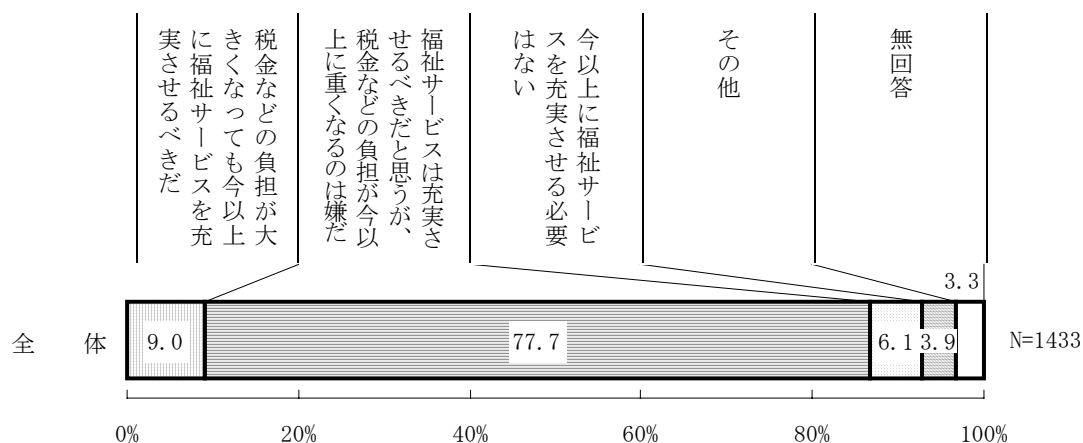
問 21 福祉サービスを充実させることと、その財源となる税金などの負担について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

全体では、「福祉サービスは充実させるべきだと思うが、税金などの負担が今以上に重くなるのは嫌だ」が8割近くを占めている。

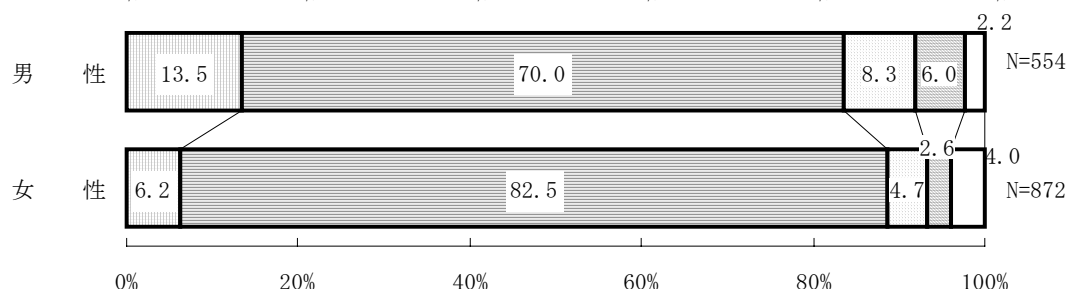
性別では、「福祉サービスは充実させるべきだと思うが、税金などの負担が今以上に重くなるのは嫌だ」は女性が82.5%で、男性より12.5ポイント高い。一方「税金などの負担が大きくなっても今以上に福祉サービスを充実させるべきだ」は男性が13.5%で、女性は約半分の6.2%にとどまった。

年代別では、大きな傾向の差はみられないが、70歳以上で、「税金などの負担が大きくなっても今以上に福祉サービスを充実させるべきだ」と「今以上に福祉サービスを充実させる必要はない」の相反する意見が同率の10.0%となっている。

【全体】



【性別】



【年代別】

